

地域を変える

NEW

POWER!!

地域おこし協力隊

細野 達也さん



肝付町の皆さまこんにちは！地域おこし協力隊の細野達也です。奥さんも大阪から肝付町に拠点を移し、内之浦の結の家でヨガ教室を開講しました。私も運動不足のためスタッフとして同行し一緒にヨガを習っています。運動不足と分かっていても、意思の弱さからすぐにやめてしまうため、

こういった教室があると交流の場にもなり楽しく継続していけるのではないかと考えています。さて、今回は11月にリナシテイかのやで実施したプチマルシェについてお話しします。11月2日(土)リナシテイかのやにて「りなぱ!2024」ハロウィンパーティーが開催され、そこで大隅半島5市町(肝付町、鹿屋市、垂水市、南大隅町、志布志市)の地域おこし協力隊と一緒にプチマルシェを実施致しました。町のPRとして、肝付町のブースでは宇宙グッズと肝付町観光親善大使である(仮)たろうさんが経営するパン屋「ばあちゃんち」のチョコパイとパンプ

キンパンを販売しました。パンプキンパンは今回のイベントのためにオリジナルで作っていただき、デコレーションを協力隊が実施しました。思っていたよりかわいい見た目になりましたが、袋詰めが苦戦しかわいい見た目が崩れてしまつたものもあります。イベント当日は台風の影響もあり雨が予想されたため、急遽室内での販売に変更。そのため、パンがあまりののではないかと心配していましたが、お昼から天気も回復し客足が増えたことでパンも完売いたしました。宇宙グッズにも興味を示している方がおり、宇宙のグミ(宇宙で培養した乳酸菌を使用したグミ)が人気でした。今回のイベントで近隣地域の地域おこし協力隊と交流を深めることができ、活動内容や具体的な取り組みを話すことができました。継続的に交流を図り、他の町の良い取り組みを肝付町にも取り入れていければと思います。最後までお読みいただきありがとうございます。

CIRトウの **ベトナム探訪**
 Hãy cùng khám phá Việt Nam nhé!



ベトナムのお正月は
1月1日ではない!?

ベトナムにはお正月が2回あります。それは西暦新年(1月1日)と陰暦新年(旧正月)です。西暦の1月1日では、学校や会社は休みとなり、家族と一緒に休んだり旅行に行ったりする時間に使われます。

ベトナムの正式な祝日新年は旧正月で「テト」と呼ばれています。陰暦の1月1日で祝われるため、毎年日にちが変わり、今年の旧正月は2025年の1月29日です。テトの休暇は通常2週間程度あるため、多くの人たちが帰省し、家族と再会する大切な時期です。テトの前には、家族全員が集まって家の掃除や飾り付け、買い物、そして新年の料理を準備します。12月30日(陰暦)の夜には、新年を迎えるための特別なテレビ番組やカウントダウンの花火が行われます。そして、1月1日(陰暦)には、みんなは新しい明るい色の服を着て、過ごします。ベトナムでは赤と黄色が幸運を招く色と考えられており、テトの時期にはこれらの色の服が人気です。その後、家族全員が祖父母や親戚に新年の挨拶をしたり、お墓参りに行ったり、寺院で平穏な新年を祈願します。また、ベトナムでも日本と同じようにお年玉の文化があります。子どもたちは大人からお年玉をもらい、健康に成長するようにと願われます。

私にとって、テトの最も好きな時間は準備をしている時です。みんなで街を歩きながら、テトの雰囲気や風景を楽しむ時間が、毎年楽しみにしているひとときです。そして、みんなでキッチンに集まって伝統的な料理を作るのも、私にとっては大切な思い出です。忙しい現代社会の中で、時には慌ただしさに追われて、故郷の伝統的な美しさを忘れてしまうこともあります。けれど、テトの時期こそ、改めてその美しさを感じ、家族と過ごす時間を大切にすることができます。

